

## 総合評価結果報告書

施設の名称	静岡中央子育て支援センター、清水中央子育て支援センター		
課名	子ども未来課		
指定管理者名	社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和4年6月7日(火)		
評価委員 ※( )内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 阿部 薫夫(子ども未来課長) ②委員 原田 康弘(生活安心安全課長) ③〃 繁竹 三千代(青少年育成課長) ④〃 京井 麻由(静岡市子育て支援団体連絡会副会長) ⑤〃 湯浅 穂乃(静岡市子育て支援団体連絡会副会長)		
評価点 (各委員平均点)	86点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>全体的に概ね良好な施設運営がなされている。特に複数の事業を実施しているという法人の強みを活かし各事業が連携して事業展開することで、幅広い子育て支援が実現できており高く評価できる。</p> <p>利用者アンケートによる満足度については、両施設とも一時保育室・交流サロンのいずれにおいても評価が非常に高く、日頃から利用者に寄り添った子育て支援、施設の運営ができており高く評価できる。</p> <p>一方で事業内容等の情報発信については、毎月の情報紙やホームページを通じて行ってはいるものの、現代の子育て世代に合わせSNS等を活用した情報発信も求められ、今後工夫して取り組む必要があると考える。</p> <p>コロナ禍においても、利用者に安心して施設を利用してもらえるように、感染対策を徹底して事業を実施していた。</p> <p>今後においても、市内の子育て支援センターの中心的な役割を担い、子育て支援の拠点施設として関係機関や地域と連携し、幅広い子育て支援事業を展開する施設運営を期待する。</p>		

## 総合評価結果総括表

施設 の 名 称 [ 静岡中央子育て支援センター、清水中央子育て支援センター ]

課名 [ 子ども未来課 ] 指定管理者名 [ 社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会 ]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(ア) 事業計画書等に基づいた事業が適切に実施されている。 (20点)	20	20	17	16	20	18.6
(イ) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置されている。 (10点)	10	10	8	6	8	8.4
(ウ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施されている。 (10点)	10	10	9	10	10	9.8
(エ) 当初予算に基づいた適切な予算執行が行われている。(10点)	8	8	6	6	8	7.2
小 計	48	48	40	38	46	44
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
(ア) 指定管理者からの提案による指定管理者の持つノウハウや ネットワークなどを活かした事業が実施されている。(10点)	10	10	8	6	8	8.4
(イ) 施設利用(事業・イベントへの参加を含む)を促進するため の方策が実施されている。(5点)	4	5	4	3	4	4
小 計	14	15	12	9	12	12.4
3 市民(利用者)のサービスの向上	【配点15点】					
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けている。(10 点)	10	10	10	8	10	9.6
(イ) 利用者の意見・苦情等に速やかに対応している。(5点)	5	5	4	4	5	4.6
小 計	15	15	14	12	15	14.2
4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(ア) 利用者の育児不安を解消するため、相談業務や子育てに関 する情報発信を積極的に行っている。(10点)	8	10	9	2	8	7.4
(イ) 市内各子育て支援関係機関や地域の子育て支援従事者との 連携を図った施設運営を行っている。(10点)	10	10	8	4	8	8
小 計	18	20	17	6	16	15.4
合 計	95	98	83	65	89	86

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

- ・利用促進のための今までにない工夫はあったか、充分だったか。
- ・満足度は高い数字を維持している。
- ・積極的な情報発信の取組がはっきり見えなかった。
- ・コロナの影響を除き、計画どおりに事業が実施できた。
- ・法人で行っている複数の事業をうまく連携して行った。
- ・地域や他施設との連携もうまくできている。

【B評価委員】

- ・交流サロンの休館中も、利用者に寄り添った支援を実施し、創意工夫に心掛けている。
- ・利用者の満足度が高いことは、安心して行くことのできる場が確保されていることの表れである。また迅速な苦情対応と職員間での再発防止に向けた取組は評価される。
- ・法人の規模の大きさから、多様な主催事業や講座、連携事業、共同事業を展開しており、また職員の人材育成にも研修メニューを充実させ、力を入れている。
- ・今後も安定した運営により、市民ニーズに応え、さらに利用者が広がるような取組に期待したい。

【C評価委員】

- ・利用者の苦情に対して速やかに対応しているものの、そもそも苦情を発生させてしまったことにも問題はある。
- ・必要な情報発信は行われているものの、情報の即時発信（SNS）が必要な時代になってきているので、そちらも取り組んでいただきたい。

【D評価委員】

- ・人的ネットワークなどが上手く活用されているように見受けられた。
- ・利用者にとっては満足の高い施設なのだと認識できた。非利用者の声を聞く機会があったら聞いてみたい。
- ・育児不安を解消するための情報はあふれている。人とのつながりやコミュニケーションを求める親子は、働いているスタッフや施設の情報発信を求めていると思う。

【E評価委員】

- ・概ね適切に運営されていると感じる。
- ・月ごとの一時預かりのニーズの動向にあわせた適切な職員配置への改善を求める。
- ・中央という市内での主要センターの立場でセンターを利用していない（しづらい）人達の声なども積極的に収集していくことを期待する。
- ・長期にわたり運営を担っているので、体制の安定力を感じる。一方で、現在の親世代にあわせた情報発信などについて、より届けやすい方策（SNS等の活用など）を考えてくださることを期待する。

#### 評価委員会としての意見

全体的に概ね良好な施設運営がなされている。特に複数の事業を実施しているという法人の強みを活かし各事業が連携して事業展開することで、幅広い子育て支援が実現できており高く評価できる。

また、交流サロン・一時保育室のいずれにおいても適切な人員配置がされており、今後も利用状況に合わせた職員配置が継続されることを期待したい。

事業内容等の情報発信については、現代の子育て世代に合わせ、SNSの活用等工夫して取り組む必要があると考える。

利用者アンケートによる満足度は常に高い数値となっており、今後においても更なる向上を期待する。